

． 分担研究報告-15.

令和元年度厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患等政策研究事業） 脊椎関節炎の疫学調査・診断基準作成と診療ガイドライン策定を目指した大規模多施設 研究班分担研究報告書

SAPHO症候群の診療ガイドライン策定に関する研究 および末梢性脊椎関節炎診療の手引き作成 担当：乾癬性関節炎の疫学・病因と病態

研究分担者：岸本 暢将 （杏林大学医学部 腎臓・リウマチ膠原病内科 准教授）
共同研究分担者：辻 成佳、谷口義典、西川浩文、石原陽子、富田哲也

研究要旨

脊椎関節炎の国際共同研究（ASAS-COMOSPA）において日本における脊椎関節炎の特徴を明らかにした。N=3984人の脊椎関節炎患者の内、本邦登録患者161名の解析を行った。161名中、末梢性脊椎関節炎に分類される患者は42名(28%)と諸外国に比べ多い。また、42名中、71.4%に乾癬を認め、本邦における末梢性脊椎関節炎患者では圧倒的に乾癬性関節炎（PsA）が多いことを示した。今回、末梢性脊椎関節炎診療の手引き作成にあたり、担当した“乾癬性関節炎の疫学・病因と病態”において、過去に報告した全国3施設におけるPsAの有病率や臨床像を示した大規模研究の結果も踏まえ考察した。

A．研究目的

ASAS-COMOSPA研究(国際多施設共同縦断研究)における日本人の脊椎関節炎、特に末梢性脊椎関節炎の疫学を明らかにする

B．研究方法

全国の主要施設からASAS-COMOSPA研究に登録した脊椎関節炎患者n=161名の解析を行った。
(倫理面への配慮)
同意取得。介入研究ではない。

C．研究結果

ASAS-COMOSPA研究においてSpA患者3984人が登録され、日本161人、日本以外のアジア諸国933人、その他の国2890人であった。平均年齢はそれぞれ48.8歳、36.95歳、45.51歳で、女性の割合は33.5%、22.2%、39.3%($p<0.001$)であった。mNY基準を満たすRadiographic体軸性SpA患者の割合は日本で低かったが(50.9 vs 75.5 vs 60.6%、 $p<0.001$)、末梢性脊椎関節炎の患者の割合は高かった(28.6 vs 5.7 vs 15.5%、 $p<0.001$)。また、末梢性脊椎関節炎患者に皮膚乾癬を有する患者は日本で多かった(71.4 vs 23.9 vs 61.2%、 $p<0.001$)。身体機能(BASFI)や疾患活動性(BASDAI)は、アジア人がその他の国々の患者と比べ低かった。

D．考察

日本における脊椎関節炎患者の中で末梢性脊椎関節炎に分類される患者は約3割に上り、諸外

国と比べ多いことが明らかとなった。さらに皮膚乾癬を合併していることが多くPsA患者が圧倒的に多いことが明らかとなった。2015年我々がJ Rheumatol誌に報告したデータでは、乾癬患者3021名中PsA患者は431名(男性258例、診断時平均年齢53.0歳)で、施設間平均PsA有病率は14.3%、最大20.4%であり、欧米とほぼ同等の乾癬患者における関節炎の有病率を示しており。

E．【結論】

脊椎関節炎の国際共同研究のサブ解析にて、日本の脊椎関節炎患者において末梢性脊椎関節炎の割合は多く、またPsA患者が多いことが明らかとなり、今回の診療の手引き執筆に反映した。

F．健康危険情報 該当なし

G．研究発表

1. 論文発表

1. Kishimoto M, Yoshida K, Ichikawa N, Inoue H, Kaneko Y, Kawasaki T, Matsui K, Morita M, Suda M, Tada K, Takizawa N, Tamura N, Taniguchi A, Taniguchi Y, Tsuji S, Haji Y, Rokutanda R, Yanaoka H, Cheung PP, Gu J, Kim TH, Luo SF, Okada M, Medina CL, Molto A, Dougados M, Kobayashi S, van der Heijde D, Tomita T: Clinical characteristics of spondyloarthritis patients in Japan in

comparison to other regions of the world. J Rheumatol online published on Feb 15, 2019.

2. Ohara U*, Kishimoto M*, Deshpande G, et al. Prevalence and clinical characteristics of psoriatic arthritis in Japan. J Rheumatol 2015;42:1439-42 (*Contributed equally as a first author)
3. Moltó A, Etcheto A, van der Heijde D, Landewé R, van den Bosch F, Bautista Molano W, Burgos-Vargas R, Cheung PP, Collantes-Estevez E, Deodhar A, El-Zorkany B, Erdes S, Gu J, Hajjaj-Hassouni N, Kiltz U, Kim TH, Kishimoto M, Luo SF, Machado PM, Maksymowych WP, Maldonado-Cocco J, Marzo-Ortega H, Montecucco CM, Ozgocmen S, van Gaalen F, Dougados M: Prevalence of comorbidities and evaluation of their screening in spondyloarthritis: Results of the

international cross-sectional ASAS-COMOSPA study. Ann Rheum Dis 75:1016-1023, 2016.

2. 学会発表
1. Min C, Kishimoto M, Deshpande GA, Kaneshita S, Suda M, Ohara Y, Haji Y, Rokutanda R, Suyama Y, Shimizu H, Tsuda T, Yamaguchi K, Takeda A, Matsui Y, Okada M: The association between rheumatoid factor and cardiovascular disease in healthy adults. Poster presentation in the 78th Annual Scientific Meeting of the ACR, Boston, Nov 2014. (Arthritis Rheum 2014;66(Suppl):S887)

H . 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得 該当なし
2. 実用新案登録 該当なし
3. その他 該当なし